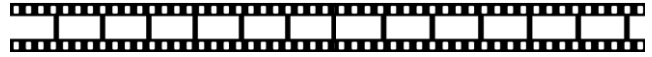


9 月に入って夕陽の美しさに目が奪われることが多くなり、少しずつ秋へ向かっていることを実感します。大学は長い夏休みが終わり、いよいよ後期が始まります。授業のある生活に少しずつ心と身体を慣らしていきましょう。



映画から人生を学ぶ vol.4



比べて発見する

東京国立近代美術館で開催されていた「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」を観てきました。この展覧会は、パリ市立近代美術館、東京国立近代美術館、大阪中之島美術館の 3 館のコレクションの中から、時代や流派、国を越えて、主題やモチーフ、色や素材、作品が生まれた背景などの共通点でトリオを組んで作品を展示するというとても面白い企画でした。たとえば、「モデルたちのパワー」というタイトルのトリオは、アンリ・マティス、萬鉄五郎、アメデオ・モディリアーニの 3 人の画家がそれぞれ描いた女性像、肩肘を付いて横たわるポーズを取った一人のモデルが画面いっぱいに描かれている油彩画で、それら 3 作品が横並びで展示されています。このような形で一度に鑑賞する機会はなかなかありません。何とも贅沢な気分になり、また、比較して観ることで初めて背景や細部に注目し、それぞれの絵のもつ魅力を新たに発見して味わうことができました。比べることは、共通点と相違点を知るだけではなく、個々の特徴を捉えることになるのだなということを実感して帰ってきました。

そこで今回は、私もトリオを組んで映画を紹介してみたいと思います。テーマは「日本の大学生」です。大学生が主人公の邦画作品を 1980 年代、1990 年代、2000 年代からひとつずつ選びました。台詞や音楽、時代背景にももちろん違いを感じますが、連続して観ることによって、大学生の模索する心を複数の角度から捉え、立体的に理解するような感覚を私は得ました。皆さんはどのような感想をもつでしょうか。是非、善し悪しを越えた何かを味わってもらえたらと思います。

「ヒポクラテスたち」 1980 年製作／大森一樹監督

大学医学部の最終学年は、グループに分かれて各診療科を一週間ずつ回って臨床実習を行います。実習を通して様々な問題と向き合い、時に激しくぶつかり合いながら成長していく医学生の姿が描かれています。医大を卒業した大森監督の実体験をもとに映画化された作品です。豪華な出演者やコミカルな描写による面白さもありますが、胸にズシンと響くような内容も含まれているので、心に余裕があるときに観るようにしてくださいね。

「四月物語」 1998 年製作／岩井俊二監督

地元の旭川を離れ、大学に通うために上京した主人公・卯月。慣れない土地での独り暮らし、新しい人たちとの出会い、そして胸に秘めた進学の実目的とは……。大学生が新生活の中で味わう不安や戸惑い、期待、解放感などの交錯する気持ちが美しい春の情景に乗って伝わってきます。

「何者」 2016 年製作／三浦大輔監督

朝井リョウの直木賞受賞小説を映画化した作品です。就職活動対策をしようと集まった 5 人の大学生が力を合わせて就活に励むもののなかなか内定が決まらず、徐々にお互いに複雑な感情を抱くようになっていきます。就職活動を通して自分が「何者」であるかを模索する姿が描かれています。



学生相談室の利用案内



◆開室時間◆ 平日 9:00～17:00

※開室時間が変更になる場合があります。

ポータルサイト(n☆star) から「施設・学生支援」→「学生相談室」
トップページ「学生相談室カレンダー」を確認のうえ、ご利用ください。

◇相談スタッフ◇

- なかや し の (月・火・水・木 担当)
- 中谷 紫乃 (月・火・水・木 担当)
- あべ み き (月・火・木・金 担当)
- 安部 美紀 (月・火・木・金 担当)
- みたに あい (水・金 担当)
- 三谷 愛 (水・金 担当)

◆相談方法◆

相談には心の専門家である臨床心理士が応じます。予約はメールまたは電話で受け付けています。メールで予約する場合は、学籍番号と氏名、希望する曜日や時間帯をいくつか明記してください。初回の相談時間は50分です。

心身の健康のこと、対人関係のこと、学生生活のこと、進路のことなど、どのようなことでも構いません。遠慮なくご相談ください。

◆精神科医による心の健康相談◆

学生相談室では、精神科医師による相談日を月2回設けています。気になる症状がある、医療機関の受診を迷っている、などについて精神科医師に無料で相談することができます。予約は電話またはメールで、学生相談室へお申し込みください。

2024年度後期 精神科医師相談日

9/18, 10/2, 10/16

11/6, 11/20

12/4, 12/18

1/15, 1/29

時間は10:00～12:00です

◆オープンスペース◆

学生相談室内には、誰でも利用できるオープンスペース(やすらぎルーム・りらルーム)があります。学生相談室開室時間中はいつでも出入り自由、飲食も可能です。利用する皆さんが静かにリラックスして過ごせるように、原則お一人での利用をお願いします。居場所のひとつに加えてくださいね。

やすらぎルームに
新しい本が入りました!

やすらぎルームには、閲覧・貸出可能な図書を置いています。メンタルヘルスや一人暮らしに関する本、写真集、小説、漫画など、学生の皆さんの参考になりそうなものをスタッフがさまざまなジャンルから選んでいます。今年もたくさん新しい本を仕入れました。是非見に来てください。

《編集後期》

やすらぎルームの一冊に、長田弘の散文詩集「深呼吸の必要」を選びました。作者のあとがきには「言葉を深呼吸する。あるいは言葉で深呼吸する。(中略)そうした深呼吸のための言葉が、この本の言葉の一つ一つになった。」と書かれています。「言葉を深呼吸する」なんて考えたことがなかったので、しばらくフリーズしました。とても素敵な表現に出会うことができ嬉しいです。(中谷)

〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
北星学園大学 北星学園大学短期大学部
学生相談室
相談室直通TEL: 011-891-3929
E-mail: gakuseisoudan@hokusei.ac.jp